

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度 第9回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）報告（公開）

なし

### （2）協議（公開）

- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・地域協議会委員研修を振り返って
- ・令和5年度地域協議会活動報告会の実施について
- ・地域協議会だより第64号（令和5年度第3号）の発行について

### （3）その他（公開）

## 3 開催日時

令和5年12月25日（月） 午後6時30分から午後7時50分まで

## 4 開催場所

中郷区総合事務所 第4会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内靖彦（会長）、高橋京子（副会長）、荒川清尊、高橋達也、竹内昭彦、宮川昇藏、村越勝彦、陸川昇一、陸川陽一（欠席3人）
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、加藤次長（総務・地域振興グループ長事務取扱）、宮尾市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長併任）、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、恩

田総務班長、早川税・市民生活班長、高橋福祉班長、（以下、グループ長はG長と表記。）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【桐山班長】

会議の開会を宣言。

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

### 【竹内（靖）会長】

会議録確認を宮川昇藏委員と村越勝彦委員に依頼。

報告事項はないか。（なし）

協議に移る。自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、前回の協議で、委員間の意識合わせが必要との意見を受け、事務局で作成した資料の説明を求める。

### 【桐山班長】

資料 No1 を基に説明。真に移動手段に困っている人とは、身近に移動をお願いできる人がいないなど、日常生活に支障をきたす人を指すことにした。

### 【竹内（靖）会長】

事務局から説明のあったとおり、対象者は、真に移動手段に困っている人に限定した運行を想定することとし、「会員」という言葉は使わず、「事前登録者」に統一して協議を進めることとする。令和6年度の地域独自の予算事業として提案した「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿検証事業」は、喫緊に迫っている互助による運行を想定した中で、実施していくものである。

本日の会議では、委員間の意識合わせをるところまでとするが、次回までにルートや運行時間を検討するためのアイデアを考えていただきたい。また、事前登録者の集め方についても考えていただきたい。

事前登録者の集め方としては、少し具体的な運行を示しながら募る方法が良いのではないかと考えている。

### 【高橋（達）委員】

本事業の予算要求額は、どうなっていたか。

リクエスト運行の実施にあたり、ニーズの把握方法を検討する必要があると感じている。4月になってから募集して、行先等のニーズ調査をするか、4月までに何らかの方法でニーズ調査をするのか。

**【竹内会長】**

ニーズ調査の方法についても、次回1月の会議までに、各委員の考えをまとめていただきたい。

**【桐山班長】**

10月の地域協議会で、提案内容の確認をした以降、予算要求額は変わっていない。総額で、1,944千円である。

**【高橋（京）副会長】**

1月の会議で意見をまとめるとのことだが、委員の知見のみでは限られるので、民生委員の意見を聞くことが必要なのではないか。

**【竹内会長】**

民生委員との連携は、運行期間中に必要と感じるが、実施計画を練る段階では、民生委員に意見照会等を依頼するつもりはない。

**【宮尾G長】**

民生委員から情報をもらうことは可能と考えるが、全民生委員に各世帯を回ってもらうような調査をお願いすることは、1委員あたりの訪問数から、現実的に困難と考える。

**【竹内会長】**

民生委員の会議が定期的に行われている。そのような機会に、情報提供などの連携は取れるものとする。

**【桐山班長】**

ニーズ把握については、令和6年度事業において、真に移動手段に困っている人から直接聞き取ることを想定している。本格的に互助による運行を開始する段階で、民生委員等の関係団体の意見を聞く場面が想定される。

**【竹内会長】**

次に、令和6年度の地域独自の予算事業として提案した「子どものい〜場所開設事業」に移る。資料の説明を事務局に求める。

**【桐山班長】**

資料No.2を基に説明。この事業では、参加者の集め方と、実施後に開設回数をもっと増やしてほしいとの要望があった場合の対応が課題と考える。

### 【陸川（陽）委員】

参加対象者に放課後児童クラブ利用者を含めるか否かについては、令和6年度の事業としては、対象に含めて良いと考える。

### 【竹内会長】

開設日を増やしてほしいとの要望が寄せられることは想定されるが、どこまで対応するかは、実施団体の体制も関係してくる。実際やってみないと分からない部分もあり、児童クラブ利用者を本事業の対象から外すことは、我々の意図と外れてしまう可能性がある。事務局の説明にあった懸案事項については、次回1月の会議までに、各委員の考えをまとめていただきたい。

### 【加藤次長】

事務局説明で、対象者に放課後児童クラブ利用者を含めるか含めないかが懸案事項として説明をしたが、開設要望が多く寄せられ、仮に毎日開設しようとする、放課後児童クラブとの差別化が困難になる。今後の事業展開も想定した中で、意見やアイデアを聞かせていただきたい。

### 【村越委員】

事業の目的が、「子ども同士の発意により気軽に集まり自由な活動ができる拠点の提供」であることから、令和6年度事業における参加者は、児童クラブ利用者も含まれるものとする。その結果、毎日開設してほしいとの要望があるか、その要望にどこまで応えられるかは、現時点での検討は難しい。

### 【竹内会長】

他の事業とのバランスも考えながら進めていきたい。

本日の会議で、委員間の意識合わせができた。欠席委員には、文書による報告ではなく、対面して今日の内容を伝えることにする。

次に、(2)地域協議会委員研修を振り返ってに移る。まずは、私の感想から言わせていただくが、徳島県神山町の事例は、中郷区の状況に近いと感じた。今回は、創造行政研究所の副所長に来ていただき話を聞いたが、創造行政研究所の所長の話を聞く機会も持ちたいと思った。

### 【陸川（昇）委員】

中郷区も似たような形で進んでいると感じたが、中郷区の進み方が、少し早く進めすぎているのかなと感じるところがあった。

### 【竹内（昭）委員】

我々は、先に目標を決めすぎている部分があると感じた。いろんなことを進めるときに、あれもいいね、これもいいねと良い所を取り込みながら進んでいるところや、人のつながりを大事にしているところが参考になった。

#### 【加藤次長】

学びは絶え間なく続けていくものだと思っている。せっかく上越市に設置されているシンクタンクなので、創造行政研究所を利用して知見を深めていただきたい。

#### 【竹内会長】

創造行政研究所とは初めての交流であったが、ありがたい機会になった。視察に行くことも大事だが、今回の研修も有意義な研修となった。

次に、(3) 令和 5 年度地域協議会活動報告会の実施についてに移る。事務局から案などがあれば説明を求める。

#### 【桐山班長】

昨年度から協議を続けている自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、令和 6 年度予算に提案した地域独自の予算事業 2 件を中心に報告することを提案する。また、12 月 9 日に開催した委員研修の内容も報告対象として考えられる。本日の協議内容をまとめ、次回 1 月の会議で次第案を示し、2 月の会議では報告会当日に向けた詳細の協議を進めるスケジュールを想定している。

#### 【竹内会長】

開催日、開催場所は、前回の会議で決定済みであり、各自予定を調整し、全委員の出席を求める。報告内容については、自主的審議事項の経過を含め、令和 6 年度予算に提案した地域独自の予算事業 2 件に、今年度の地域独自の予算事業として実施している「つなげるコミュニティ区内巡回ツアー運営事業」の内容を加えて報告したい。今年度の活動を全て報告会で報告するには、時間がかかりすぎる。各委員の意見はないか。(意見なし)

#### 【竹内会長】

報告会では、パワーポイントを使いながら、伝わりやすい資料を作る。当日の役割分担については、私から指名させていただく。開催に向けた周知は、総合事務所だよりを使って周知する。また、広報上越 2 月号にも、各区で開催される報告会の情報や、地域協議会委員の改選に伴う記事が掲載されるとのこと。私も、広報上越の取材に応じる予定になっている。

次に (4) 地域協議会だより第 64 号 (令和 5 年度第 3 号) の発行についてに移る。事務局の説明を求める

#### 【津島主事】

年度当初の計画では、1 月に今年度第 3 号を発行することになっていた。掲載内容について、事務局の案としては、委員改選の年であることから、委員の感想等のコメントを中心に編集することを提案する。改選を意識したコメントの掲載を考

えると、1月発行で良いかという懸念もある。以上の内容を協議いただきたい。参考までに当初計画では、3月に第4号を発行する予定になっていた。

#### 【竹内会長】

1月に発行する計画ではあるが、いざ、改選時期が迫っている中で、この時期にコメントを書くことを考えると、委員の皆さんも書きにくいのではないかと思う。また、地域独自の予算への提案内容についても、もう少し詳細をまとめ3月に合わせて発行することとしたい。

#### 【高橋（達）委員】

発行回数より、内容が大事だ。1月に発行できるに越したことはないが、会長が言われるように今回は3月にまとめて発行でよい。

#### 【津島主事】

1月の発行は見送り、3月の発行を予定する。発行前に改めて相談させていただく。

#### 【竹内会長】

いつも、急な依頼になるので、早めに原稿依頼ができるように事務局と調整していく。以上で、本日協議は終了する。次に、その他に移る。

12月6日に北関東防衛局の職員が中郷区総合事務所を訪れ、防衛省補助事業の説明会が開かれた。私、高橋（京）副会長、宮川委員が参加した。補助事業の内容を理解するまでには至らなかったが、地域協議会としても勉強すべき内容であると考え、改めて地域協議会委員への説明会を設けてほしいとお願いした。

#### 【高橋（京）副会長】

初めて話を聞いて、知らないことだらけのことを少しは知ることが出来た。

#### 【桐山班長】

中郷区まちづくり振興会の活動が、国土交通大臣表彰となる「手づくり郷土（ふるさと）賞」を受賞した。12月23日に東京で行われた受賞記念発表会に岡田龍一理事長が参加し、活動内容のプレゼンテーションを行った。発表会はネット上でライブ中継され、二本木駅では、プロジェクターを使い映し出し、集まった人と視聴するイベントが行われた。

#### 【竹内会長】

名誉ある賞を受賞し、めでたい。今回の受賞は、中郷区まちづくり振興会だけの力ではなく、商工会や観光協会も大きく関わってきた結果である。元々、二本木駅を盛り上げようと言い出したのは、地元の小学生なので、小学生、中学生にも、受賞のことは伝えたい。これまで関わった多くの人と喜びを共有したい。

#### 【桐山班長】

配布物の確認。

#### 【陸川（昇）委員】

毎年話をしていることだが、三ツ屋のガード付近は、降雪時に道が狭くなる。通学路の安全確保の観点から、もう少し広く除雪することができないか。県道であるため県の対応となると思われるが、市道同様に早めの点検確認をお願いしたい。

#### 【高波所長】

漏れなく抜かりなく対応していく。

#### 【荒川委員】

国道の信号が、雪が降ると点滅に変わり、枝道から国道に進入する際に苦慮する場面がある。特に、中郷インター近くの交差点は、4車線あるので危険を感じる。通勤の時間帯の点滅は、地元住民からすると迷惑でもあり、どういう時に点滅になるか確認してほしい。

#### 【高波所長】

過去にも同様の意見があり、所管機関に伝えた経緯がある。改めて、確認し、必要な調整を行う。

#### 【竹内会長】

積雪が増えるといろいろな障害が出てくるが、地域協議会の場に限らず、その都度、総合事務所に連絡してもらうことも大切である。

次回の地域協議会は、1月22日（月）、18時30分から開催する。地域独自の予算として提案した事業について、疑問な点等は事務局に確認しながら、次回の会議までに各委員の考えをまとめて来てほしい。

以上で、本日の地域協議会は終了とする。

#### 9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。